

## 村上市総合計画進捗検討会議 概要

会議名	第2回 村上市総合計画進捗検討会議
年月日	令和4年11月21日(月) 15:30～16:55
会場	村上市役所本庁 5階 第5会議室
出席者	飯塚氏、岩佐氏、宍戸氏（座長）、仲氏、長島氏、畠山氏、八藤後氏  企画戦略課：大滝課長、山田参事、忠課長補佐、田村副参事、渡辺主査、山田主査、井上主任
議事概要	
座長	<p>1 開会 2 挨拶 3 報告</p> <p>(1) 令和4年度第1回村上市総合計画進捗検討会議での意見について（資料1） （事務局が第1回会議での次回確認とした事案を説明） （事務局が資料1を説明）</p> <p>成果指標については、アウトプットにも意味があるものもあるが、アウトプットよりもアウトカムの方がより市民生活、市民の皆様の満足度につながっていくものであるため、そこはしっかりと整理していただきたい。</p>
事務局	<p>意見シートに対する意見への回答</p> <p>○資料1の1ページ、「新規就農者支援事業」 どのような人々が該当するのかについてだが、国は年齢要件「50歳未満で所得要件600万以下」のところを、市は「61歳未満で所得要件なし」として、要件を緩和して支援しているところである。今後も積極的にアピールして新規就農者の獲得に努めたい。</p> <p>○資料3の12ページ、「新規就農者支援事業」 新規就農支援事業につきましては国の要件を満たさない新規就農者への支援となっており、新規作物に取り込む支援策としては、12ページにある農業振興事業の「水田利活用推進事業補助金」や「高収益作物等導入モデル実証事業補助金」等によって支援をしているところである。担い手の確保に向けた思案もしながら、支援策についても検討していきたいと考えている。</p> <p>○資料3の12ページ、「農業振興事業」 事業概要に自然災害に対して強靱化を確保する農業が含まれるか、またリサーチや情報収集に関する支援等があれば良いというご意見についてですが、農業振興事業の中には、強靱化を確保する農業の概念というものは含まれていないが、この度の災害のこともあり、自然災害への備えを重要なことと認識している。昨今の異常気象や想定を上回る災害に備えるためにも、今回の災害で学べるべきことは多々あると思われるので、情報収集等を行いながら、必要な支援につなげていきたいと考えている。</p> <p style="text-align: center;">（質疑なし、了承）</p>

	<p><b>4 議事</b></p> <p>(1) 第3次村上市総合計画の進捗状況(令和4年度中間分)について(資料2、3) (事務局が資料2、3を説明)</p>
座長	<p>○資料3の1ページ、「合計特殊出生率」</p> <p>1ページ目「合計特殊出生率」ですが、これは今のところ数値は出ていないのか。</p>
事務局	<p>9月末の実績値に横棒が入っている箇所については、数値が報告されていないものである。項目によっては年度末になるというものもある。</p> <p>合計特殊出生率についても今のところまだ公表されていない。</p>
座長	<p>例えば、令和3年度の数値は令和2年度の数値が入るように1年遅れで入ることか。令和4年度は、令和3年度の数値が出る。出生届の状況は、肌身感覚でどのようなものか。令和元年度から令和2年度にかけて、改善しているようだが、今日、人口減少の日本社会において、ここまで改善していることについて、何か市として要因分析はしているのか。</p>
事務局	<p>市としては、大変喜ばしい話ではあるが、前回の会議でも触れたように、はっきりとした直接的な要因はわからない。単純にみると増えているが、その後どのように推移していくのか、その辺は見守る必要があると思っている。</p>
出席者	<p>○資料3の1ページ、「村上地区保育園整備事業」</p> <p>総合計画の実施計画では令和4年度から令和7年度までとなっており、これからということだと思われるが、保育園の整備は、とても大事なことだと思う。きれいな保育園、内容の充実している市町村が、若いお父さんやお母さんが増えていると聞いているので、進捗状況はどうなっているのか伺いたい。</p>
事務局	<p>現在、村上市の市街地に3園あるが、これを1園か2園に統合しようとする話が出ている。2年前、民間の方で保育園の建設という話があり、町中に保育園を作ろうという話があったが、そこが浸水区域に当たるということで、そこで一度計画が頓挫してしまったという経緯がある。そこから、改めて市で場所をどの辺にするのかということで計画を立て直している状況で、候補地を探している。</p>
出席者	<p>保育園であるので車で送ってくれば、いろいろなところから保育園に預けることができると思われるが、対象のエリアはまだはっきりしていないということか。</p>
事務局	<p>エリアは、この市街地が中心となる。</p>
出席者	<p>順調に進むことを願っている。</p>
出席者	<p>○資料3の2ページ、「自殺死亡率」</p> <p>令和4年9月末の数値が入っていない。令和2年度から令和3年度の数値が10ポイント以上高くなっているということは、コロナ禍の影響も考えるが、その辺のところと、今年度の見込み人数、また男女の比率もどのようになっているのかお聞きしたい。</p>

事務局	<p>コロナ禍で、家に閉じこもりがちになり、自殺する人数が上がっているのではないかと一般的に言われていることであるが、それは直接、市のデータにも関係しているのかというところまで確認はしていない。市のデータでいくと男性の自殺率は非常に高いと言われている。思い詰めてしまう男性が多い。</p>
出席者	<p>日本の傾向としては男性が女性よりも高いが、このコロナ禍によって、女性の自殺が多くなっている。でも、女性と比べるとまだ男性が多いという状況だが、そのあたりはどのような状況か。</p>
座長	<p>経年で統計を取ることも良いかもしれない。男性、女性の割合がどのように変化しているのか。あるいは変わっていないのか。</p>
事務局	<p>令和2年のデータがあるが、人数でいうと女性5人、男性5人となっている。</p>
出席者	<p>資料3でいえば、基準値の令和2年度のところの数値ということか。</p>
座長	<p>女性5人、男性5人であれば、自殺者における男女比は女性が増えているが、割合は全国平均と比べれば、男性が高い。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりで、去年まではずっと男性が非常に多かったが、令和2年から人数が一緒になってそのような傾向が出ていると思われる。</p>
出席者	<p>その辺は具体的には計り知れないと思われるが、女性がより環境的にコロナ禍で大変な状況になっているのではないと思われる。</p>
事務局	<p>数字にしっかりと表れている部分であるので、女性へのサポートなどについては一層気を付けていきたい。</p>
出席者	<p>○資料3の2ページ、「ゲートキーパー養成講座」  当社では、地元の新卒の若い子たちを毎年、採用しているが、せっかく縁あって入社した社員が何年かすると鬱になったりして、離職または長期間出勤困難な状況で在籍するという今までなかったケースが多いということで、人事担当もなかなか苦労している。ホームページをみると一般的に募集していると思ったが、企業の人事担当など参加したくても企業宛に「どうですか」という書類が来ないと、仕事中に「この講座に参加させてください」というのは少し動きにくいところがある。企業の人事担当も若者たちを食い止めるには直接関わっている部分であるので、例えば、今回は従業員50名以上の企業に対して案内する。次回は10人以下の企業に対して案内するなど、そのようにしていただくと参加しやすい。そして、参加した者が企業内で対策が練れるのではないと思われる。悩んでばかりで対策が見えないため、ご検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>自殺の原因や鬱の原因は、家庭の問題であったり、友達関係、仕事のことなどがある。仕事の内容は結構な割合を占めるのではないと思われる。企業向けのゲートキーパー養成講座も提供できるのは非常に有用になってくると思われるので、ご意見をしっかりとつなげていただきたい。</p>
出席者	<p>ゲートキーパー養成講座を修了された人を職場に派遣という形も良いと思われる。しかし、対象となる人が専業主婦だった場合、お子さんが小さければ、</p>

	<p>保健師が来てくれたりする機会があると思うが、ある程度になるとそのような機会も無くなる。そのようなときにゲートキーパー養成講座を修了された方との接点というものはどのようにして作れるものなのか。本人が病んでいるという自覚があればよいが、家族などもなかなか気づけないような状況の時に、そのような方との接点の持ち方というものをどのようにしていけば良いのか、疑問に思った。</p>
事務局	<p>自分で悩んで苦しんで相談窓口等に行ったり、民生委員に相談することかできる人はまだ良い方なのではないかと思われる。また、自分が病んでいることに気づかない、誰に相談していいのかわからない場合はあると思われる。そのような方をどのように見ていくかというのは、地域の人であったり、民生委員、近所の方、家族だったり、親戚だったり、そのような方が気を配っていただいて行政へつなぐ、民生委員につなぐことが必要になってくると思われる。また子どもから感じ取れるようなことを学校で気づいてあげるとか周りの人の気づきが大切になってくると思うので、ゲートキーパーではない周りの人もそういった意識で接してもらえれば、周りで支えあえる環境が大切なのかなと思われる。</p>
座長	<p>近所や地域付き合いがしっかりしているところはそれができるかもしれない。確かに周囲の気づきは大事だが、ただ、市街地にも特に言われるところだが、アパートで1人や2人で暮らすような方こそ、まさに閉じこもりなど、ますます深くなっていくと思われる。確かに周囲の気づきは大事だが、同時に都市化してくれば周囲から離れる人も増えてくる。それに対する方策を考える必要はあると思われる。</p>
事務局	<p>かなり難しいことではあると思うが、そのような人たちを見捨てることは絶対にありえないので、一步一步サポートする体制を心がけていきたい。</p>
出席者	<p>○資料3の1ページ、「合計特殊出生率」</p> <p>合計特殊出生率の向上は望ましいことではあるが、本市の置かれている状況は危機的だと痛感している。子ども・子育て会議で、色々と市民の声を聞いて、話し合いを続けてきたが、もっと上位の計画に係ることだからと、なかなかその会議では申せませんということで壁を感じてきた。今回は総合計画や実施計画に係る会議ということで思うことを述べたい。様々な事業に取り組んでいると感じているが、事業が並列的に展開していて、この市の危機的状況にどうやって答えていくのかという戦略的なものが見えてこないと感じている。一つ一つの仕事は一生懸命に取り組んでいると思うが、その結果、この市が置かれている人口減少や、このままいくと限界集落・限界市町村になってしまうという状況に対して、処方箋のようなものが見えてこない。やはり総合計画だったり、戦略的な視点が必要だと思われる。本市では、この事業に対して重点的に取り組んでいって、大きな危機的状況を解決していくというものがないと、各事業を一生懸命やってきましたということで終わってしまう。結局、根本的な問題の解決が置き去りになってしまうのではないかという印象を実施計画の内容から感じている。ですから、ここにはどういう戦略をもって、様々な市の事業を展開していくのか、市としての戦略的なもう少し練っていく必要があるのではないかと思われる。前回の会議の中で、相互の事業をどうやって調節していくのかと質問したが、各部署間で調節し合うとのことであった。やはりこれはどんな組織でも何か大きな問題を抱えていたら、ある程度、プライオリティをつけてトップダウン的にやっていかないと、どうしても並列的なこういう計画になってしまう。そのため、調整ということについては戦略的に市の方向</p>

	<p>性を示していく必要や役割が見えてこないもので、今後の市の方向性、危機感に対してどう対処しているのか見通してみたいなものが、見えてくるようになっていっていただけたら良いと思われる。</p>
事務局	<p>前回の会議でも、市の全体の調整ということについて、ご指摘いただいていた。まさに、今年からできた企画戦略課が市の戦略を立てていくということであるので、今のご意見を厳しく受け止めてしっかりと調整をしていきたい。</p>
座長	<p>確かに、総合計画を作ると総花的になる。また、市は総合的に様々な仕事をしているので、それぞれに目配せして、結局は並列的に総花的になってしまう。これは、どの自治体も同じような悩みを抱えている。どうやって、プライオリティやメリハリをつけて事業をするかまさに戦略性が問われるわけである。では、どうすればよいかであるが、県内のいくつかの自治体では横串的取り組みを行っているところがある。総合計画というものは、分野ごと、ここでいう5つの基本目標それぞれについて、担当課がある。それが、結局は縦割りにになってしまう。ならば、それを横串で、例えば、子育て対策であれば、子育て分野のみならず、他の部署でも関連してくるもののあるだろうと、横串的に見て、ここに見合うものは重点的にやるというプライオリティをつけてやるというような取組をこれからしようとしている自治体がある。</p>
出席者	<p>○資料3の3ページ、「介護人材バンクマッチング人数」 登録者が増えない理由は何か。</p>
事務局	<p>登録者のPRは、市報やホームページなどでしているが人材がいないのが一番の要因のようだ。資格を持っているが、現在、フリーであり、仕事をしたいという方がいない。そういう方はハローワークに行けば、仕事が見つかるということでそもそも人材がいないというところが大きい。</p>
出席者	<p>これから高齢者が増えていくし、人手も欲しいと思うので、「認知症サポーター養成講座」もしていると思うが、「認知症」だけでなく、予防全体でそういったサポーターとかを設けて地域で隣の家の人を見るとかのサポートも普及していくと良いと思われる。</p>
事務局	<p>認知症のサポートも企業向けなどいろいろ講習をやっており、先ほどの自殺の話ではないが、地域ぐるみで認知症に対する理解を深めて、認知症がどんなものかわかるだけでも一歩前進ということで、進めているのでどんどん広がっていくものと考えている。</p>
出席者	<p>身体機能バージョンなどいろいろなバージョンがあると良いと思った。</p>
出席者	<p>○総合計画29ページ、「ボーダレスな（境界がなくなる）環境を活かす」 先ほどの横串の話があったが、総合計画に「ボーダレスな（境界がなくなる）環境を活かす」と記載がある。このコロナ禍において、在宅勤務やテレワークなどが有効だということで打ち出されているが、この29ページの部分がとても大事だと思われる。広域な村上市では現在、どのような状況か伺いたい。</p>
事務局	<p>まず、先ほどの横串ということについて、今、デジタルの部分について取り上げて話をすると、DXということで、近年、急激に伸びているわけだが、DXは</p>

	<p>どの課であれ、どこでも取り組まなければならない中身になっている。それを横串を刺すということで、今年度、企画戦略課の中にデジタル化推進室というDXを所管する室を設けている。そこで、市全体のDX化を進めていくということで横串を刺してやっているというものである。</p> <p>そして、29ページの件については、これだけ市域が広いとDXで市民の生活が向上する部分というのは色々あると思われる。例えば、買い物の支援をするのにタブレットを使って注文をする。公共交通をタブレットやスマホからタクシーを呼ぶ。バスの居場所を見るなど色々なDXの活用方法があると思われる。</p>
事務局	<p>市では、今年の3月に「村上市DX推進方針」を策定して進めているところである。横串という点については、その中で村上市DX推進本部会議を開いて、各課長がそこに参加して、情報共有をしながら進めているところである。具体的な取組は実施計画になるが、これからの策定となるので、それに向けて職員と取り組んでいるところである。</p>
出席者	<p>市民が活用できるというのが大事と思うので、スピード感を持って進めることが大事であると思われる。</p>
出席者	<p>○資料3の14ページ、「観光入込客数」</p> <p>村上市は魅力がたくさんある場所だと思うが、実際に観光に行ったときに魅力的というか歓迎されているというイメージがあるとさらに良いと思われる。例えば、駐車場はどこにあるのかわからない、停めにくい、海水浴場にはコンビニがない、食べる場所の選択肢が少ない。これらを充実させることで、観光客も壁を低くして楽しめるのではないかと。魅力的な村上市に皆さんが行ってみたい、行ってよかったとそういう場所になるといろいろな面で波及効果があるのではないかとと思われる。</p>
座長	<p>関連して、「観光入込客数」や「外国人観光客数」は何人来たかということ成果指標として挙げているようだが、歓迎されているという体験型とか地域の人との交流とかそういうことを求めて観光客は来ると聞いている。であれば、来られた人の数はさることながら、満足して帰ってもらうことが大事だと思う。おもてなしというのは日本人の自己満足であり、実はおもてなしになっていないことは多々ある。そのへんは、成果指標を見直すのであれば、満足度調査にするとか、そういったものを含めて、ハッピーで帰っていく観光客が次につながる。何人来たかはアウトプットであり、アウトカムはハッピーになって帰っていく観光客である。それは、村上市民の誇りであるし、観光客は歓迎されていると認識されるし、市のイメージの向上につながっていくと思われる。</p>
事務局	<p>ご指摘いただきましたとおり、満足して帰っていただくことが次につながると思いますので、施設の部分の充実や案内看板の不足している部分、また、知りたい情報が簡単に手に入るようなものを構築しながら、満足度を高めていくというのも一つだと思われるので、今後さらにそういう観点を持ちながら、施策を検討させていただきたい。</p>
座長	<p>肝心なのは市民の理解である。案内看板はきれいにした。道路は整備した。お店も揃えた。それだけでは、観光客は面白くないまま帰る。市民向けのおもてなし講座など、市で取り組んだことはあるか。</p>

事務局	観光ガイドという形で講座を開設した。また、現在も観光ガイドの方が活動されている。
座長	観光ガイドの方がキーパーソンになると思うが、最後、観光地を決めるのは、やはり市民だと思われる。市民がよそ者をニコニコ迎えてくれたら、「こんないい街なら、もう一度来たい」となる。どんなにきらびやかなものがあったとしても、市民がむすっとしていれば、また来たいとは思わないだろう。
事務局	皆さん、ご承知かもしれませんが、村上市は、屏風祭りや人形様巡りなど、まさにおもてなしの精神で、観光客を迎え入れて、しかも行政の力をそれほど借りずに自分たちで事業を展開していくという活動をされ、定着してきている。こういった部分もあるので、さらにそこに磨きをかけて、さらに満足度が向上できるように取り組みを進めていく必要があると思われる。
出席者	○資料3の14ページ、「道の駅朝日リニューアル整備事業」 最近だと、加治川の道の駅では、周辺にはパン屋さんが無いことから、道の駅で7時からパンを販売しているのが売りである。阿賀野市の道の駅では、ソフトクリームがすごく売り上げが大きい。インスタなどでも話題となり、わざわざそのために道の駅へ行くというように上手に情報発信している。その2駅をプロデュースした方が関川村に研修会にいらしていたということですが、村上市の道の駅朝日は、何か売りを作ってリニューアルしていくようなものはあるのか。
事務局	市内には現在、道の駅は3か所ある。そのうちのひとつ、道の駅朝日のリニューアルについてこちらには記載されておりますが、高速道路が今後、朝日地域から県北に向けて延伸されるところに合わせまして、リニューアルを計画しているものである。令和4年度の実現状況にもありますが、施設の配置やゾーニング、また今ほどあがったコンセプトというものを定めながら、現在、設計をしているところである。基本設計の前に全体の構想を描いたのですが、その中には、人がここを目的として訪れていただくというのも一つコンセプトとして入っておりましたので、その辺を充実しながら、進めていくものだと考えている。
座長	具体的には何がコンセプトになるのか。
事務局	現在、既存の道の駅朝日には、野菜の直売所や地元のものを使った食堂がある。今までは、市町村合併の関係もあり旧朝日村ということであったが、リニューアルに伴って、市全体で商品展開をしていきたいと考えている。
出席者	○資料3の2ページ、「自殺死亡率」 自殺の原因などは調査されているのか。コロナの関係で収入が落ちて借金を理由にという話を聞いたことがある。借金であれば、破産手続きをすれば0になったりするが、それが原因で自殺してしまうのは残念であると、私自身でも、もう少しつながればと悔しい思いをしているところもあり、そういったところで、原因に応じて対策などは変わってくると思われるので、そのあたりはどのようにされているのか気になる。
事務局	原因については54%が原因不明になっているが、その他で大きいものとしては健康問題、家庭問題、経済的な問題が挙げられる。個別に何か自殺対策として行っているかということ、自殺対策というわけではないが、経済的な生活支援や相談、健康相談、個別の問題に関してはしっかりと窓口を開いていくとい

	<p>ったところである。</p>
出席者	<p>○資料3の13ページ、「新規企業立地件数」</p> <p>立地できるというのはすごくいいことだと思われるが、実際のところ、誘致できた企業は村上市のどこに魅力を感じて立地することになったのか、調査、聞き取りはできているのか。そこで、若い人の就労先にもつながるので、企業の誘致は大事だと思われるが、新潟市などでも誘致に力を入れているなどそういう話も聞くので、何に魅力を感じたことが、決め手になったのかという調査が必要かなと思われる。</p>
事務局	<p>新規企業立地件数で基準値3件、令和4年度3件と、変化がない状況となっているが、令和2年度の実績値は3件ある。そのうち、2件は市内の企業が改めて別の事業を起こしたというところで、瀬波温泉の旅館経営といったところで異業種の方に、新規として企業を起こしたというものである。もう1件についても、すでに市内に企業があるが、村上市には工業団地に航空機産業の大きな企業があり、関連企業ということで、新たに企業が立ち上がったというものである。もう1件については再生可能エネルギーやバイオマス発電の事業所が新たに関東方面から新規事業の立ち上げというところで、当市を選んでいただき、進出いただいたものである。こういった要因等については、今後また深く聞きたいと考えている。</p>
出席者	<p>日本海沿岸東北自動車道の胎内市内においてスマートインターを造っており、高速道路を降りたらすぐに工業地域になっており、立地について働きかけしたものと思っている。市は誘致に向けて、どのようなことを考えているのかと思い質問した。</p>
出席者	<p>○資料3の3ページ、「認知症サポーター人数、事業所数」</p> <p>事業所数について令和3年度が33となっており、令和2年度から何倍も多くなっている。そのあとの令和4年度は同じ事業所数で、目標値が15ということで目標値を大きくクリアしているが、令和2年度から令和3年度に増えた要因と、そのあと増えていない要因は何かあるか。</p>
事務局	<p>令和3年度の実績について、もちろん講習会であったり、そういったものを積極的に行った結果であるが、令和4年度については水害の影響もあり、なかなか事業が実施できてないというのが現状である。今後、その辺については事業を進めていくということではあるが、とりあえず、数字が今のところは伸びていないというところである。あとは、目標値の事業所数については大きく上回っているところではあるが、この辺については、来年度に向けて、また目標値を設定し直すのかどうかについても検討していきたい。</p>
出席者	<p>今後また伸びていくということによろしいか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
出席者	<p>○資料3の18ページ、「人権講演会等の参加者数」</p> <p>令和4年度の見込みが100人となっているが、これは、「人権・同和対策事業」については8月中止で12月に行う事業による100人ということか。</p> <p>男女共同参画促進事業の事業概要に「人権・同和対策事業と合わせて実施」とあるがこれは、12月に行うのは男女共同参画促進事業も含まれるものか。</p>



事務局	<p>今回は「女性の人権」をテーマにして計画している。こちらは、「ママをやめてもいですか」を上映する。子育てに悩み躓いてそれでも子どもを愛し抜く、育児に奮闘するすべてのママへ送る笑って泣けるドキュメンタリー映画となっている。12月25日に村上教育情報センターで上映予定である。</p>
出席者	<p>男女共同参画の様相も含まれているということか。とかく、人権・同和と合わせてとなると、同じ人権であっても男女共同参画は隠れてしまうことが多いのだが、今の内容をお聞きしてうれしく思った。</p>
出席者	<p>○資料3の18ページ、「各種委員の女性登用比率」 25%の目標値について、令和4年度の見込みが21.0%となっているが、登用促進のために何か取組はしているか。</p>
事務局	<p>各協議会、審議会でも女性の登用も意識しながら、取り組んでいる。</p>
座長	<p>例えば、市役所の庁内全課に対して、「25%達成するように」といった依頼などはしているか。</p>
事務局	<p>市民課が行っている。</p>
出席者	<p>それは、庁内の調整会議などでの周知か。</p>
事務局	<p>女性の委員の割合については市長からも積極的な登用という話をされている。市民課でも毎年、各委員の性別ごとに人数を調査して毎年度確認している。</p>
座長	<p>「〇〇課の委員の割合は低い」など、対象となる課に対して通知は出しているのか。</p>
事務局	<p>そこまではしていない。 この会議も女性が過半数ということで意識的に、女性の方々に参画していただくという取組の現れということである。</p>
出席者	<p>委員会ごとには女性が半分超えているところもあるが、例えば、防災などなかなか女性の委員が増えないようなところもある。やはり防災のところでも女性役員がある程度の人数がいるということがとても大事なところであると、女性の視点での避難所運営などにつながっていくので、そういう低いところを上げるというところはとても大事だと思われる。それから、令和2年度から令和4年度へと0.9ポイントは上がっているが、25%に目標達成する見込みはあるのか。</p>
事務局	<p>はっきりと何年度に何%というものは設定していないが、目標に向かってしっかりと取組を進める。</p>
事務局	<p>行政的に各種委員をお願いする際は、各団体の方をお願いをして、ご推薦をいただくというのが多いパターンとなっている。その各団体の方にも、男女共同参画という意味合いをご理解していただいて、こういう会議体にも女性をご推薦いただくといった取組も進めていきたいと思っている。</p>

出席者	<p>先ほどの発言に続いてですが、まず、お詫びしなければならない、いただいた資料ばかり見ている、いろんな事業が並列的で優先順位がわからない戦略が見えないと申し上げたが、大本になる第3次総合計画の18ページに重点戦略という項目がある。これを見落としていて、申し訳ないことを言った。その中で出ている「人口減少問題は本市の最重要課題であり、第3次村上市総合計画においてもあらゆる施策を超えて重点的に取り組むべきものと考えられることから、第2期村上市総合戦略及び村上市行政改革大綱を本計画の重要戦略と位置づけ、各政策・施策を横断的に取り組むこととします。」と謳われているが、この重点戦略の部分について進捗状況は何かわかるものはあるか。</p>
事務局	<p>第2期総合戦略と行政改革大綱を重点戦略と位置づけているということであり、総合戦略については、前回の会議でも進捗についてご説明申し上げて、委員の皆様にご意見いただいている。横串の取組ということでご理解いただきたい。また、重点的に取り組むべきこととして位置づけられている。</p>
出席者	<p>やはり市の危機的状況がありますのでこのあたりのことがしっかり市が取り組んでいるということはとても重要な課題だと感じる。</p> <p><b>5 その他</b>  (1) 村上市総合計画進捗管理の今後のあり方(案)について(資料4)  (事務局が資料4を説明)  (質疑なし、了承)</p> <p><b>6 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">以上</p>